

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 佐藤 正文



令和元年 5月号
No. 538

「平成」から「令和」へ ～みどりの風吹くまち～

校長 佐藤 正文



【1・2年遠足】

さわやかな風が吹く小竹の町。三六道路の新緑が美しく輝いています。

保護者の皆様、小竹町会の防犯部、女性部の皆様、PTA役員の皆様方には、集団登校時に正門、南門でのあいさつ運動にご協力いただき、ありがとうございました。あいさつは、人をつなぐ大切な言葉。代表委員の子供たちが、引き続き、元気にあいさつ運動を行っています。

新年度も順調にスタートし、学級づくりも進んでいます。先日、1・2年生、3・4年生は、楽しみにしていた遠足に行ってきました。

■ 遠足 [3・4年生]

天覧山（標高197m）・多峯主山（標高271m）・飯能河原

天気にも恵まれた3・4年生の遠足。新緑の季節となり、さわやかな風の中の山歩きは、気持ちよいものでした。お互いに声をかけ合い譲り合いながら、山頂まで登り切ることができました。山頂からの景色は最高でした。お弁当は、飯能河原にて、3・4年生のたてわり班グループで食べました。クラスでの歩き方、電車の中でのマナーもしっかり守ることができた楽しい遠足になりました。

■ 遠足 [1・2年生 光が丘公園]

とても過ごしやすい穏やかな春の一日。事前に準備を進めてきた2年生。緑に囲まれた広い公園で、たてわり班毎にビンゴゲームを楽しみました。2年生が上手にリードしていたことやメンバー一人一人が優しく協力していた姿が印象的な遠足でした。

■ 新しい天皇陛下がご即位される5月1日。

「平成」から「令和」に元号が新しくなります。「令和」という語は万葉集の梅の花の唄から選ばれたと言われています。「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で、新しい文化、新しい時代を切り開いていく」という意味や「厳しい冬の後には梅のような美しい花を、日本国民の一人一人が咲かせられるように」という願いも込められているそうです。

私なりに、思いを込めて「あいうえお作文」（折句）で表現してみました。

◆テーマ「平成」

へ 変化の時代

い いくつもの チャンス チャレンジ

せ 先人の知恵を 忘れない 絆の大切さ

い 生きること 負けない心 未来のために

◆テーマ「令和」

れ 礼儀 日本の美 伝統のすばらしさ

い 慈しみ おもてなし 江戸しぐさ

わ 和平 おだやか 夢と希望に向かって

1400年近くも続いている元号制度。日本の歴史を思い返し、「令和」に込められた意味や願いを実現するために認め合い、協力し合いながら一日一日を大切にしたいものです。